

大分県学力定着状況調査

| 平均正答率 | 国語   | 算数   | 理科   |
|-------|------|------|------|
| 市     | 69.2 | 71.7 | 69.1 |
| 目標値   | 64.4 | 64.3 | 61.8 |
| 県     | 67.3 | 69.2 | 64.9 |
| 全国    | 65.2 | 64.3 | 61.8 |

| 観点別<br>平均正答率 |     | 国語   |      | 算数   |      | 理科   |      |
|--------------|-----|------|------|------|------|------|------|
| 正答率          | 市   | 69.4 | 68.8 | 76.0 | 63.3 | 75.0 | 55.4 |
|              | 目標値 | 66.4 | 65.2 | 68.6 | 56.1 | 69.1 | 44.8 |
|              | 県   | 67.1 | 67.8 | 73.8 | 60.4 | 71.8 | 48.9 |
|              | 全国  | 65.2 | 65.2 | 68.6 | 56.1 | 69.1 | 44.8 |

## 学力調査の概要

### （１）良好な項目

- ◇国語科では、漢字を正しく読むことができた。また、指定された条件に沿って、自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書くことができた。無回答率も県平均に比べると低くなっている。
- ◇算数科では、各領域において県平均を上回っており、特に「図形」の領域では５％以上上回っている。具体的な操作活動等を通して確かな定着が見られる。
- ◇理科では、実験結果を基にした考察を行い、身近な事象と関連付けて考えることができています。

### （２）課題がある項目

- ◇国語科では、スピーチ内容の修正について指摘した理由を具体的に書く問題について正答率が低かった。また、連用修飾語の問題については、特に正答率が低い。
- ◇算数科では、針金の長さの求め方を説明したり、グラフからわかること言葉や数を使って説明したりする問題の正答率が低くなっている。算数用語を使って論理だてて説明する（書く）ことに課題がある。
- ◇理科では、水の状態変化についての理解が十分定着できていなかった。

## 質問紙調査結果の概要

### （１）良好な項目

- ◇「自分なりに頑張ったことを先生が認めてくれてうれしかったことがあったか」「あなたの気持ちを分かろうとしてくれる先生がいますか」「先生はクラスみんなのことをほめたり、励ましたりしてくれますか」等【先生のささえ】の項目は肯定回答が全国・県を上回っている。
- ◇「友達の意見を聞いて新しいことに気づいたり、自分の考えが深められたりして、勉強って面白いと思うことがありますか」「友だちの表情などから、自分だったらどうしてほしいか、よく考えてから行動する方ですか」等【対話・話し合い】の項目では、肯定回答が全国・県を上回っている。

### （２）課題がある項目

- ◇「仲のいい友だちでも、本音では自分のことを悪く思っているかもしれない、と不安に思うことがありますか」「信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか」等【対人ストレス】の項目について、全国・県で良好な回答が下回っている。
- ◇「仲間外れになるのが怖くて、本当は気が進まないのに、友だちの意見に合わせたりいっしょに行動したりすることがありますか」で「よくある」の回答が18.9％（県11.5％）と高くなっていた。

大分県学力定着状況調査

| 平均正答率 | 国語   | 社会   | 数学   | 理科   | 英語   |
|-------|------|------|------|------|------|
| 市     | 68.1 | 52.7 | 56.8 | 60.2 | 47.6 |
| 目標値   | 63.5 | 50.5 | 56.7 | 59.1 | 51.7 |
| 県     | 67.4 | 51.6 | 56.8 | 57.4 | 51.1 |
| 全国    | 65.3 | 49.8 | 54.1 | 55.8 | 51.1 |

| 観点別<br>平均正答率 |     | 国語   |      | 社会   |      | 数学   |      | 理科   |      | 英語   |      |
|--------------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|              |     | 知識   | 活用   | 知識   | 活用   | 知識   | 活用   | 知識   | 活用   | 知識   | 活用   |
| 正答率          | 市   | 73.3 | 58.4 | 58.7 | 40.8 | 62.1 | 40.7 | 68.9 | 45.5 | 48.9 | 42.5 |
|              | 目標値 | 67.9 | 55.0 | 55.5 | 40.5 | 60.0 | 46.9 | 65.7 | 45.5 | 54.1 | 46.8 |
|              | 県   | 72.2 | 58.2 | 56.6 | 41.7 | 61.3 | 43.6 | 65.4 | 40.7 | 53.3 | 46.7 |
|              | 全国  | 72.0 | 60.7 | 53.9 | 44.4 | 58.7 | 34.2 | 66.3 | 42.5 | 57.6 | 43.3 |

## 学力調査の概要

### （１）良好な項目

- ◇国語科については、「読むこと」「言葉や言語文化に関する事項」について、全国・県の平均を上回っている。
- ◇理科では、どの領域も全国県を上回っているが、特に「生命」の領域について正答率が71.6%と大きく上回っている。

### （２）課題がある項目

- ◇国語科では、スピーチ資料を読んでわかったことを発言する内容を条件に沿って書く問題について正答率が低かった。また無解答率も16%と高かった。
- ◇社会科では、知識理解では県平均を上回っているが、記述式の問題について正答率が低くなっている。特に最後の問題の記述問題の正答率が低く無回答率も高いので、時間配分にも課題があったと思われる。
- ◇数学科では、「データ活用」の領域について正答率が低くなっている。また、先に出発した妹を追いかけた時に追いつくまでの時間を求めるための方程式をつくる問題については3.7%と特に低くなっている。
- ◇英語科では、「書くこと」について特に課題が見られる。対話が成り立つように3語以上を使った1文を書く、3人称単数形のルールを使って妹のことを紹介する文を書く、週末に自分がすることについて3文以上で書く等の問題について正答率が特に低くなっている。

## 質問紙調査結果の概要

### （１）良好な項目

- ◇「近所の人に会った時は、あいさつをしている」「小さい子やお年寄りが困っているときは、まよわず手助けしている」の【人間関係構築力】の肯定的回答は、全国・県と比較して上回っている。
- ◇「自分にはいいところがある」「自分なりに自信をもっていることがある」「自分なりに努力したことがうまくなって、うれしかったことがある」等【自己肯定感】の項目の全般で、全国・県の肯定的回答を上回っている。
- ◇「自分の意見を積極的に発言する」「自分が正しいと思ったことは主張することができる」の等の【発信力】の項目の肯定的回答が全国・県を上回っている。

### （２）課題がある項目

- ◇「将来あんな人になりたい、こんなことがしたいという夢や目標がありますか」の肯定的な回答が67.7%（県72.8%）と低くなっている。
- ◇「友だちの意見を聞いて新しいことに気づいたり、自分の考えが深められたりして、勉強って面白いと思う」の項目について、「あまりない」の回答が34.1%（県26.9%）となっている。